

群馬県議会だより 第100号

題字は群馬県立前橋西高等学校2年生 書道部 長嶺 夏葉さんの書道作品です

発行/群馬県議会 編集/県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-226-4131 (政策広報課)



第1回定例会開催 7,816億円の令和6年度当初予算案を可決

新緑の四万湖(中之条町)

四万湖は、周囲5Kmほどの人造湖で、県営中之条発電所の貯水池(中之条ダム)です。湖水の色は、光の加減や時間帯によって1日のうち何度となく変化し、4月下旬から5月にかけて、日々緑を増す新緑と雪溶け水をたたえた透明感あふれる湖面を楽しめます。また、春から秋にかけて、カヌーやサップなどのアクティビティを楽しむことができます。

第1回定例会のあらまし

▶令和6年第1回定例会は、2月15日から3月18日までの33日間にわたって開催されました。

▶議案

2月15日には、知事から、『幸福実感・新群馬実現予算～群馬モデルで未来を創る～』と銘打った総額**7,816億円の令和6年度一般会計当初予算案**をはじめ、群馬県女性相談支援センター設置条例、群馬県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例など**108議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、意見書案2件、決議案2件、条例等改正案2件の**計6議案**が発議されました。

▶質疑及び一般質問

5人の議員による代表質問と12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。(2、3面参照)

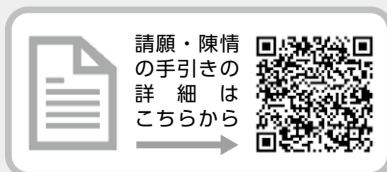
▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査を行いました。また、各特別委員会で付議事件に係る提言書をまとめました。(2面参照)

▶議決

議決は、3月6日及び3月18日に行われました。知事から提出された**108議案**は、全て**可決・承認**されました。

議会から発議された議案についても全て可決されました。また、**6件の請願**が採択されました。



▶可決された主な議案

- 群馬県女性相談支援センター設置条例
：困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の制定に伴い、現条例を廃止し、女性相談支援センターの設置及び業務について定めた条例を新設しようとするもの。
- 群馬県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例
：ペットとの共生推進に係る有識者会議における提言内容等を踏まえ、所要の改正を行う。

▶可決された意見書

- 再審手続に関する十分な議論を求める意見書
- 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業への群馬大学医学部附属病院の採択を求める意見書

▶可決された決議

- 第83回国民スポーツ大会及び第28回全国障害者スポーツ大会の開催に関する決議
- 誰ひとり取り残すことなく学びの場を確保する取組の充実を求める決議

群馬県議会だより 発行 第100号

平成11年7月に創刊し、今号で第100号となりました。年4回開催される定例会の概要や、議員による質疑及び一般質問、委員会活動や県議会の様々な取組などをお知らせしています。これからも県議会活動をわかりやすくお伝えしていきます。



創刊号
(平成11年7月発行)



第50号
(平成23年11月発行)

平成23年の第50号から高校生による表紙の題字の揮毫がスタートしました!

県議会について、若い世代に少しでも身近に感じてほしいという思いから始まり、読者からも好評をいただいています。

これまで揮毫をしてくれた生徒の感想などはこちらの二次元コードからご覧ください。





代表質問

令和6年2月21日の各党(会)派代表による代表質問では、次の議員が質問を行いました。各議員の質問の中からピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月21日(水) 自由民主党 (135分)



井下 泰伸 自由民主党
(伊勢崎市)



▶首都圏が被災した際の群馬県による対応について

Q 能登半島地震を踏まえ、首都圏が被災した際には、本県としても備えが必要と考えるが、知事の所見について伺いたい。

A 知事

知事として近未来構想の一つに「レジリエンスの拠点」を掲げ、首都直下地震等の大規模災害時に群馬県がさまざまなバックアップができるよう、昨年度から構想に基づく取組を強力に推進してきた。群馬県から国や知事会を動かし、民間企業との連携も進め、国を挙げて国難と呼ぶべき事態を乗り切れるよう、さまざまな取組を進めていきたい。

▶旧境町トレーニングセンターについて

Q 旧境町トレーニングセンターの現状について伺いたい。



A 農政部長

高崎競馬廃止後、調教師らが競走馬の育成事業を行うための法人を設立し、平成17年から境町のトレーニングセンターを利用している。この場所は約6割を民有地が占め、県では全ての土地を借り上げ、この法人に跡地の利用が決まるまでの間を条件に、土地・建物の一部を暫定的に貸し付けている。県としては、跡地利用計画や法人の移転が円滑に進むよう伊勢崎市や関係者と連携し、しっかりと調整を進めてまいりたい。



金井 康夫 自由民主党
(沼田市)



▶(新)沼田高校における特色ある教育活動と施設整備について

Q 新高校の特色ある教育活動とそれを実現するための施設整備の概要について伺いたい。



A 教育長

特色ある教育活動として、進学重視型単位制による多様な選択科目の設置、グローバルな視点の育成などを展開する。こうした教育活動を施設面からも支えるため、「学校全体を探究スペースに」をコンセプトとし、校舎内無線LANの設置、図書館と協働的・探究的学習スペースを融合した「メディアラーニングセンター」を配置し、学校施設の全てについて、主体的・対話的で深い学びを行える場としたいと考えている。

リベラル群馬 (43分)



本郷 高明 リベラル群馬
(前橋市)



▶ジェンダーギャップの解消について

Q 女性にとって魅力ある地域となるためにはジェンダーギャップの解消が必要であると考え、県の取組について伺いたい。

A 生活こども部長

ジェンダーギャップ解消のためには、性別役割分担意識や慣行をなくし、女性が意欲をもってさまざまなチャレンジができ、意思決定の場面に関わることが重要である。県では、「第5次群馬県男女共同参画基本計画」に基づき、全庁を挙げ、また教育や雇用、農業、防災などさまざまな分野で、企業や関係団体と連携しながら取組を進めている。県民全てが活躍できる群馬県となるよう、引き続き取り組んでまいりたい。

令明 (43分)



あべ ともよ 令明
(太田市)



▶被災者支援における避難所等での生活環境の向上について

Q 避難所等における生活環境の向上に向けたこれまでの取組はどうか。また今後どのように取り組んでいくのか。

A 危機管理課長

県では国に先駆けて令和3年3月に「群馬県避難ビジョン」を策定し、避難所等の生活環境の向上に向けて検討を進めてきた。安心して睡眠がとれる環境や栄養バランスのとれた温かい食事、安心して使える清潔なトイレの確保など、市町村と一体で取り組んできた。今後は能登半島地震で生じた課題を洗い出し、本県に置き換えた対応を検討予定であり、引き続き市町村と連携して避難環境の向上に取り組んでいきたい。

公明党 (39分)



薬丸 潔 公明党
(太田市)



▶災害対応における地震被害状況の県民への周知について

Q 市町村と連携しながら、県民に直接周知する機会を設けるべきと考えるがどうか。

A 危機管理課長

地震被害想定調査の結果を市町村とも連携しながら広く県民に周知することは、県民一人ひとりが改めて防災について考えるきっかけになると考える。防災に関する県民向けの普及・啓発については、これまで県民向け講習会として実施してきた「出前なんでも講座」のメニューの拡充を行ったうえで、市町村とも連携しながら、さらなる周知を図ってまいりたい。

活動紹介 特別委員会

約1年かけて検討・議論を重ねてきた4つの特別委員会から3月13日、知事あてに提言書を提出しました。

■ 危機管理・エネルギーに関する特別委員会

「危機管理・エネルギーに関する提言」として、国民保護に関すること、災害レジリエンスに関すること、食料安全保障に関すること、脱炭素化・グリーンイノベーションに関すること、再生可能エネルギー等の導入促進・適正な管理に関することなど、危機管理対策及びエネルギー施策の推進に当たって取り組むべき23項目について提言しました。

■ 少子化対策・Well-beingに関する特別委員会

「少子化対策・Well-beingに関する提言」として、少子化対策・子育て支援（労働政策、働き方改革含む）に関すること、健康寿命延伸に関すること、直面する教育課題に関すること（インクルーシブ教育、部活動の地域移行及びコミュニティ・スクール導入）、県民幸福度に関すること、多文化共生・多様性社会に関することなど、少子化対策や子育て施策、県民の幸福度の向上に当たって取り組むべき39項目について提言しました。

■ 交通・次世代産業振興に関する提言特別委員会

「交通・次世代産業振興に関する提言」として、公共交通に関すること、群馬県版MaaSに関すること、物流の効率化に関すること、DX推進・デジタルイノベーション加速化に関すること、次世代モビリティ産業に関することなど、群馬県の交通及び次世代産業振興施策を推進していくに当たって取り組むべき25項目について提言しました。

■ リトリート・温泉文化に関する特別委員会

「リトリート・温泉文化に関する提言」として、リトリートの推進に関すること、県立赤城公園活性化整備に関すること、登山道・山岳観光に関すること、温泉文化の推進に関すること、移住促進・ワーケーションに関すること、県産農畜産物のブランド化に関すること、観光・リトリートと連携した農業振興に関することなど、群馬県におけるリトリート・温泉文化の推進に当たって取り組むべき37項目について提言しました。



群馬交響楽団 フルオーケストラ議場演奏

4年ぶり



第1回定例会の恒例となっている、県議会の本会議場をステージにした群馬交響楽団の「議場演奏」が、開会日の2月15日に行われました。

令和3年から5年までは、新型コロナウイルスの影響のため規模を縮小しての演奏でしたが、今回4年ぶりに50人を超えるフルオーケストラでの演奏となりました。今年はブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」やドボルザーク「交響曲第9番『新世界より』第4楽章」など4曲が演奏され、議員のほか、傍聴に訪れた約150人の皆さんも聴き入りました。

「議場演奏」は、昭和32年3月定例会において初めて演奏されて以来、毎年実施しています。

質疑及び一般質問

令和6年2月22日、27日、28日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。各議員の質問の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!
 下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月22日(木)

須藤 和臣 自由民主党 (館林市)

▶東洋大学板倉キャンパスの移転に伴う交渉状況について

Q どのような形で東洋大学側と折り合いをつけるのか伺いたい。

A 地域創生部長

板倉キャンパスは、建物、土地ともに東洋大学の所有であるため、利活用のキャスティングボード（決定権）は大学にある。交渉に当たっては、地域が望む利活用が図られるよう、大学側に強く求めているところである。また、大学が取得以来、活用されていない未利用地の返還について、無償譲渡するよう強く申し入れを行っているところである。

2月27日(火)

神田 和生 自由民主党 (藤岡市・多野郡)

▶イチゴの生産拡大について

Q 令和6年度から群馬県ではイチゴの生産拡大に取り組むとのことだが、具体的な内容について伺いたい。

A 農政部長

①県立農林大学校(高崎市)に、イチゴ生産の基本的な知識と技術を修得する「いちごコース」を新設、②農業技術センター(伊勢崎市)に先端技術に適した高設栽培施設を整備し、イチゴ研究拠点として強化、③施設整備や機械導入の経費を補助する予算を拡充し、イチゴの新規栽培者や規模拡大を目指す生産者を後押しする。こうした取組により生産を拡大し、群馬県のイチゴを多くの消費者に届けられるよう努めてまいります。

2月28日(水)

伊藤 清 自由民主党 (安中市)

▶国道18号(旧道)の災害復旧と防災対策について

Q 令和5年8月の台風7号で被災した国道18号(旧道)の災害復旧の現状と開通の見通し及び防災対策について伺いたい。

A 県土整備部長

復旧状況としては、昨年11月に工事着手し、現在、崩落した路肩を補強する工事を実施しており、今年3月末の開通を目指し復旧工事を推進している。防災対策については、定期点検の結果から17カ所で落石対策が必要と判断し、昨年度までに3カ所の対策工事が完了した。残る箇所のうち、12カ所は工事の契約手続き中で、2カ所は保安林の許可が下り次第、順次工事に着手する予定である。

井田 泰彦 令明 (桐生市)

▶自動車サプライヤー^(※1)支援の体制強化や内容の充実について

Q 自動車サプライヤー支援センターについて、さらなる充実が必要と考えるが、現状の体制や取組内容、来年度の方向性について伺いたい。

A 産業経済部長

県では、自動車サプライヤー支援センター(前橋市)を中心に、大きな時代の変化に積極的に挑戦する企業に対し、ワンストップで集中的に支援を展開している。令和3年度のセンター設置以降、業界最新動向の提供、デジタルを活用した設計・開発人材の育成、EV技術関連の大規模展示商談会出展等の事業を実施してきた。引き続き、さまざまな機関と連携しながら、企業の挑戦をしっかりと後押ししていきたい。

栗野 好映 安新会 (安中市)

▶誰一人取り残さない県民幸福度の向上について

Q さまざまな立場にある県民が誰一人取り残されないことのないよう、県として取組を進めることが重要と考えるが、知事の思いと県の今後の取組について伺いたい。

A 知事

「誰一人取り残されない」とは、弱い立場の人々を救済するという側面とチャンスをおもんに与えるという側面がある。前者の取組として、社会保障・福祉政策、医療政策のほか、こども政策、交通・デジタルデバインド^(※2)対策を進める。後者の取組として、子どもたちの非認知能力の育成などの特色ある教育、外国人県民を含めた多文化共生を進める。「県民の幸福度向上」は山本県政最大のミッションであり、引き続き全身全霊で取り組んでまいります。

宮崎 岳志 群馬維新の会 (前橋市)

▶県立赤城公園活性化整備について

Q 赤城ランドステーションのシャワー等の整備方針を伺いたい。また、将来的に温浴施設の設置が望ましいと考えるが、今後の整備に向けた県の考えを伺いたい。

A 環境森林部長

赤城ランドステーションは、ビジターセンター敷地内に建設を予定しており、登山・ランニングなど、赤城のアクティビティの拠点にもなる場所であることから、身体を動かした後も、快適に過ごしていただくためにシャワー室も整備予定である。温浴施設については、「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」の中で整備を検討するとされており、さまざまな方と意見交換を重ねてまいります。

水野 喜徳 自由民主党 (吾妻郡)

▶こんにゃくの価格暴落に対する今後の群馬県の取組について

Q 昨年こんにゃくいもの価格が暴落し、生産農家数も減少する中、群馬県のこんにゃく産業の衰退が懸念される。これに対する今後の県の取組について伺いたい。

A 農政部長

冷凍食品やお菓子の原料となる加工用ジャガイモなど新規作物への一部転換を進め、こんにゃくいもの生産農家の経営安定につなげたい。また、こんにゃく製品の国内消費が減少する中、海外のバイヤーとの商談会や「輸出EXPO」などの見本市に出展し、輸出の促進に取り組む。さらに、こんにゃくいもの機能成分を生かした新製品開発に向けて、民間企業や大学と連携して取り組んでまいります。

中島 豪 自由民主党 (高崎市)

▶児童の発達障害に関する取組について

Q 発達障害の疑いのある児童数が増えているが、現状の課題と県の具体的な取組はどうか。

A 健康福祉部長

発達障害児支援に当たっては、発達の課題を早期に見出し、適切な支援につなげていくことが重要である。県では、集団での遊びを通じた相談援助を行う「マザーアンドチャイルド事業」や保育施設等に児童への適切な接し方を助言するコンサルテーション等に取り組んできた。また、令和6年度新規事業として、「ペアレントメンター事業^(※3)」を実施予定であり、今後も発達障害児とその家族に対する支援体制の充実・強化に努めてまいります。

斉藤 優 自由民主党 (伊勢崎市)

▶県道境木島大間々線の冠水対策について

Q 県道境木島大間々線(境下淵名交差点付近)の冠水対策について、県の考えを伺いたい。

A 県土整備部長

現地調査の結果、交差点の東側が地形的に低く、特に雨水が溜まりやすいことが判明した。このため、交差点東側の冠水箇所から交差点を南下する県道境木島大間々線の約100m区間において、排水能力を向上させる対策工事を実施することとし、現在、工事の契約手続きを進めているところである。台風などの豪雨が多く発生する夏頃までの完成を目指し、速やかに工事を進めていく。

酒井 宏明 日本共産党 (前橋市)

▶市町村が実施する生活保護事務における不適切な事務に対する対応について

Q 桐生市で発覚した不適切な事務に対し、群馬県ではこれまでどのように対応してきたのか伺いたい。

A 健康福祉部長

群馬県では、事案が明らかとなった昨年12月から、桐生市に対して事実確認やヒアリングなどを行い、「毎日窓口に来所させるなどの過度な分割支給をしないこと」、「当月分の保護費の一部のみ支給するといった取扱いはいししないこと」など不適切な点を指摘し改善を求めるとともに、県内の各福祉事務所に注意喚起を行った。また、今年1月には特別監査を開始し、現在、実態把握を進めている。

丹羽 あゆみ 創生会 (みどり市)

▶女性活躍推進に係る安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

Q 令和5年度群馬県幸福度レポートでは「安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると感じますか」の施策実感が前回調査よりも低下しているが、今後の取組を伺いたい。

A こどもまんなか推進監

今年2月に「こどもまんなか推進本部」を立ち上げ、新規施策を検討するチームを設置。チームで検討を進める新たな施策群を「こどもまんなか推進プログラム」としてまとめる。子育ての負担が女性に偏っている現状を踏まえ、「共働き・共育での推進」を検討テーマの一つとしており、女性の活躍に繋がるものと考えている。知事のリーダーシップの下、関係部局が連携し全力で取り組んでまいります。

星野 寛 自由民主党 (利根郡)

▶温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録について

Q 群馬発の取組が全国的に広がりを見せているが、改めて知事の思いを伺いたい。

A 知事

国会議員の議連や知事の会、民間主導の全国推進協議会が設立され、登録に向けた機運は着実に高まっている。全国の旅館、観光関係の皆さんが立ち上がってくれたことは、群馬県発の取組が全国を巻き込む大きな動きになってきている証であり、確かな手応えを感じている。温泉県の知事として、温泉地で働く人たちに誇りと希望を持ってもらい、温泉地を盛り上げるためにも、引き続き全力で取り組んでまいります。

※1 自動車サプライヤー…自動車部品や素材を供給する部品メーカーや素材メーカーのこと
 ※2 デジタルデバインド…インターネットやコンピュータ等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差のことで、「情報格差」と訳される
 ※3 ペアレントメンター事業…自らも発達障害児の子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親が専門家とは異なる視点から共感的なサポートを行う支援事業

若者の政治への関心を高める取組

議員に密着ゼミナール

～もっと知りたい政治のハナシ～



昨年12月21日に、県議会議員が大学に出向いて学生と意見交換を行う「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

高崎経済大学地域政策学部の「現代政治論」の授業に3人の議員（写真左から大和勲議員、加賀谷富士子議員、亀山貴史議員）が参加し、「群馬県の地域課題」などをテーマに、担当の増田正教授の進行により231人の学生と熱心に意見を交わしました。

会場では、学生からの「大学生や高校生向けの政策について考えているか」という問いに対し、議員は「奨学金返還支援制度をもっと充実させたい」と答えるなど、真剣なやりとりがありました。



県議会だより題字揮毫 感謝状贈呈式が行われました

県議会広報紙「群馬県議会だより」では、平成23年の第50号から、若者に政治への関心を持ってもらうきっかけとするため、表紙の題字を高校生に揮毫していただいています。3月12日に、令和5年度に発行した第96号から第99号の題字を揮毫した生徒及び高等学校に、安孫子哲県議会議長から感謝状を贈呈しました。贈呈後の安孫子議長との懇談では、普段の部活動の様子や将来の夢などが話題となり、その後、議場等を見学していただきました。



★★★ ご協力ありがとうございました! ★★★

第96号	群馬県立桐生高等学校	3年 太平 愛音さん
第97号	群馬県立伊勢崎興陽高等学校	3年 山田 怜奈さん
第98号	共愛学園高等学校	2年 新井 千布さん
第99号	群馬県立西邑楽高等学校	2年 川島 潤基さん ※題字揮毫時の学年

ぐんまシチズンシップ・アカデミー / GACHI高校生×県議会議員

メッセージ動画を
活用しました

大学生が、本会議傍聴後に県議会議員と意見交換を行う「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」と、県議会議員が高校等へ出向き、意見交換を行う「GACHI高校生×県議会議員」の中で、今年度、県議会図書広報委員会で作成したメッセージ動画を、会場教材として活用しました。

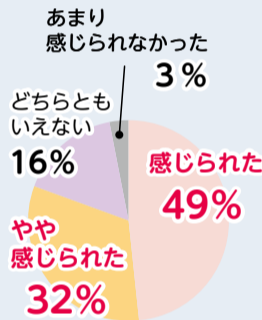
県議会議員や県議会を、少しでも身近に感じてほしいという思いから、12人の議員が出演して、議員の仕事や魅力を、即興で伝えるという内容でショート動画を制作。真剣な意見交換を行う各事業の中の一項目として視聴してもらったところ、以下の反応がありました。

【ぐんまシチズンシップ・アカデミー】



開催日：2月27日(火)
参加大学：高崎経済大学、群馬医療福祉大学、東京福祉大学、新島学園短期大学 計31人

動画を視聴した大学生からは「議会が若者に近づいてきてくれているように感じられた」といった感想がありました。



参加者アンケート

- Q 議員出演のショート動画を視聴することで、議員・県議会を身近に感じられるようになりましたか。
- A 81%の学生が、「議員・県議会を身近に感じられた」と回答しました。

【GACHI高校生×県議会議員】

会場教材使用校：1月中旬以降 8校
動画を視聴した生徒からは、アンケートの自由記載欄に「動画を見て身近な存在なんだなと思った」「議員の方たちが少し身近に感じられた」といった感想が寄せられました。



令和6年能登半島地震に係る石川県への義援金の贈呈

令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた石川県に対し、被災者の支援に役立てていただくため、群馬県議会議員全49人から50万円を2月21日にお送りしました。

議員異動のお知らせ

小川 晶 議員 リベラル群馬 → 辞職 (令和6年1月26日付)

県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。



議会図書室について

一般の方もご利用いただけます。

利用時間：平日の午前8時30分から午後5時15分まで (土曜日・日曜日・祝日、年末年始は休室しています)

利用案内詳細は、右の二次元コードからご覧ください。



県議会だより電子書籍版は、スマートフォン等でご覧いただけます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。



過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。



県議会ホームページ 群馬県議会 検索

群馬県議会YouTube

県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。

群馬県YouTube公式チャンネルtsulunon



- 「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和6年7月7日(日)発行予定です
- 「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください

☎ 027-226-4131 FAX 027-221-8201 ✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp

編集後記

【図書広報委員長 齊藤 優】

県民の皆さまに県議会の役割や活動を知っていただくため、年4回発行している「群馬県議会だより」は、今号で記念すべき第100号となりました。

今年度は、より分かりやすい広報紙とするため、工夫して紙面をリニューアルしました。また、ホームページや公式SNSのほか、群馬テレビやエフエム群馬を通して、さまざまな議会活動をお伝えしてきました。

今後も、より一層「開かれた県議会」を目指し、積極的に広報に取り組みまいりますので、よろしくお願いいたします。



図書広報委員会 構成委員

委員長：齊藤 優 副委員長：高井俊一郎
委員：あべともよ、加賀谷富士子、相沢崇文、亀山貴史、秋山健太郎、今井俊哉、水野喜徳、清水大樹

令和6年第2回定例会のご案内

会期は5月24日から6月17日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。

また、本会議・委員会は、議事堂にお越しいただければ傍聴することができます

本会議・委員会開催日程

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
5月24日	金	本会議(開会・提案説明)	7日	金	常任委員会
30日	木	本会議 (質疑及び一般質問)	10日	月	特別委員会
31日	金		12日	水	
6月4日	火		17日	月	

※会期は予定ですので、変更される場合もあります(開会はおおむね午前10時からです)

県議会中継

テレビ 群馬テレビ 午前10時～(生中継)

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。



インターネット 県議会ホームページ【議会中継】(生中継・録画)

本会議(全日程)をご覧ください。



スマートフォンでの
視聴はこちら↑